

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価現地調査評価コメント

研究課題名	水田エコテクノロジーによる西アフリカの緑の革命実現とアフリカ型里山集水域の創造	研究代表者名 (所属・職)	若月 利之 (近畿大学・教授)
-------	---	------------------	--------------------

評価コメント

研究の着手状況や購入された設備等の活用状況はいずれも着実であり、全体として研究は順調に立ち上がっていると評価できる。その上で研究の今後の展開にあたって留意すべき点を以下に指摘する。

第1に、本研究課題は極めて高い実践性を有しており、その実践の場が増加すること自身が研究の進展に不可欠であるため、一このことはいわゆるアクション・リサーチにおいては常に課題になることであるが一実践を受容してくれる地域や行政機関を増やすことが肝要である。

第2に、本研究課題は緑の革命を実現する技術的な要素が大きく取り上げられているが、現地調査当日の研究代表者らの報告でも触れられていたように、当該地域の土地制度のあり方によって関係者のインセンティブ構造が大きく変化するため、それらを総合的に取り上げる必要がある。言い換えると、本研究課題の成果が普遍性を持つようにする必要がある。

第3に、本研究課題の成果が社会的影響を持つには、研究課題の取り組みが持続性を持つ必要があり、そのための人材育成システムの構築やマニュアル化が課題である。